

ゆうす かわらばん



函館市青年センターの広報紙

2022年 * 秋冬号

vol. 30

発行／函館市青年センター

発行日／2022年10月31日

HAKODATE YOUTH CENTER in Chiyogadai-chou



青年センターバンド 「BIG BAND F#」結成！

2021年4月、函館市青年センターバンドとして『BIG BAND F#』は誕生しました。コロナ禍で思うような活動ができない中で、市内複数の音楽団体から集まった有志で構成されています。我々には「団体活動の育成」という役割があります。それを果たすため、機材、練習場所、ライブ会場の提供をするとともに、その他活動に対して全面協力させてもらっています。

ライブは大盛況！ さらなるレベルアップを目指して

コロナ禍で限られた練習でしたが、2022年3月25日(金)に初のライブとなる『F# LIVE 1st』を開催しました。青年センタースタッフが音響、照明、印刷物制作を行いました。コロナ禍ということもあり、関係者にのみ無料チケットを配布させていただいたところ、当日は超満員となりました。好評を得たメンバーはモチベーションを高めてさらに練習を重ね、2022年8月20日(土)に『F# LIVE 2nd』を開催しました。曲のレパートリーを増やし、照明機材も充実させ、「常に上がり続ける」を体現するかのような素晴らしいライブとなりました。観客の皆様も声を出してはいけない制限の中で、大きな拍手でパフォーマンスを盛り上げてくれました。今の状態にたどり着くまでにたくさんの方々に支えていただき深く感謝いたします。まだまだ未完成のバンドですが、練習を続けて地道に活動の場を広げていくとともに、多くの方々に「BIG BAND F#」のファンになってもらえるようなパフォーマンスを見せて、これからも上がり続けていきたいと思っています。コロナ収束の暁には、関係者以外の方々もお招きして、青年センター体育館を超満員にしたいと思っています！

青年センターのホームページやInstagram(下記のQRコードを参照)で活動の様子を更新しておりますので、ご覧になってください。

今後の活動をどうぞお楽しみに！

(池田孝道)



Youtube



Instagram



衣装はアロハシャツで統一したよ～！！



どうして「F#」なの？

「F」は下記の言葉の頭文字を取ったものです。

Family・Friend	…メンバーは家族や友人のような大切な関係です
Famous	…皆様に親しまれる素敵なバンドを目指します
First	…函館で一番楽しいバンドを目指します
Future	…未来に続くバンドを目指します
Free	…Big Bandの型にとられない自由な形態のバンドを目指します

「#」(半音上げ)には「常に上がり続ける」という想いを込めています。バンド名にはチームの目標や希望が込められているんですよ！

① 青年センター周辺のゴミ拾い活動

クリーンレンジャー

4月24日(日)に「青年戦隊クリーンレンジャー」を開催しました。この活動は青年センターで活動している青年団体同士の交流と日ごろお世話になっている千代台周辺地域への貢献を目的に、年に1度開催するボランティア清掃です。

今回は千代台公園、中島小学校、大谷幼稚園、中部高校、中央病院、本町の6つのコースを各班に分かれて清掃活動を行いました。私は本町コースに混ざりゴミ拾いをしました。繁華街のため、タバコの吸い殻や空き缶がたくさんあり、ゴミ袋がすぐに一杯になりました。中にはガラス製のコップが割れた状態で捨てられていたり、壊れた傘がそのまま放置してあったりケガに繋がりがかねないゴミもありました。

今回の活動を通して、ゴミのポイ捨ては、街の生活環境を汚染し、ケガや事故につながることを再確認し、一人ひとりがポイ捨てさせない環境づくりをすることが大切だと感じました。また、交流面では青年団体同士が清掃活動と一緒に行ったことで、ほかの団体のメンバーや活動内容を知ることができ、理解を深められたようでした。

4月にしてはとても暑い日でしたが、一生懸命清掃活動をしてくださった青年団体の皆さん、ご協力ありがとうございました！(倉橋町華)



快晴の中、ゴミ拾いができました。雪解け後の街中はゴミが多かったです。



桜が咲いていました❁ 青空もとてもキレイですね～！



参加団体は、●MCC(バドミントン)●コゴウバドミントンクラブ●だいたい企画(演劇)●芝居組「虎」(演劇)●函館躍魂いさり火(YOSAKOI)●函館学生連合～息吹～(YOSAKOI)●MAXIMUM(マーチングバンド)●Andante(吹奏楽)●おどけ箱(大道芸)●HAKODATE GAME PARTY(ゲームを通して地域活性化を目指す)●LiBERTÀ(アメリカドッジボール)●函館塾(演劇)●SSV(ソフトバレー)の計13団体、42名様でした。ご参加いただきありがとうございました！

② ゲームを通して楽しく交流♪

ボンバーマン大会



参加チームにはそれぞれドリンク1箱の景品が当たりました！普段交流することがない団体のメンバーと楽しく交流できたようでした。参加していただき、ありがとうございました！



ゲーム大会開始前に、初心者の方に向けてHAKODATE GAME PARTYのメンバーからルール説明がありました。操作が簡単ということがわかって安心しました♪



大きなスクリーンでゲームを見ながら、アクシデントに笑ったり、ファインプレーに歓声が上がったりして、ボンバーマン経験者も初心者もとても楽しんでいました。

6月19日(日)に『青年サークル交流会 2022』を開催しました！この活動は、青年センターを利用している青年サークルの交流を目的に毎年開催しています。2年前から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ソーシャルディスタンスを確保しやすいコンピューターゲーム(ビデオゲーム)を採用しています。今回の競技は、キャラクターを動かしながら爆弾(ボム)を配置し、十字方向に広がる爆風を利用して敵を倒していくアクションゲーム『ボンバーマン』です。このゲームは初心者でも数分の練習で操作を覚える事ができます。

当日は、ほぼ全員が未経験者というスタートでしたが、試合を重ねるうちに、テクニックを会得したり、頭脳戦を仕掛けるメンバーがいたり、大盛り上がりでした。参加者全員でくじ引きを行い、3名4チームに分かれて大会を行いました。どのチームも互いを応援し合い、協力している姿を見て、良い交流の時間になったと感じました。来年度もスポーツ or ゲームで交流会を開催したいと思います。

今回の参加団体は HAKODATE GAME PARTY、Andante、^{リベルタ}LiBERTÀ でした。ありがとうございました。

(倉橋町華)

③ 論理的に考える力を育てる

プログラミングワークショップ

青年センターではプログラミングを通してこどもたちに想像力・表現力、そして論理的に考える力を身につけて欲しいと考え、原田泰先生(公立はこだて未来大学教授)のご協力の下、平成25年度よりプログラミングワークショップをスタートしました。今年で9年目を迎えました。

今年度のワークショップは全4回(7～10月)行い、「U-16プログラミングコンテスト函館大会」(10月23日開催)にエントリーするための作品作りをしました。対象は小学4年生以上、プログラミング言語はScratch(スクラッチ)を使用しました。1回目のワークショップの前半には「クローンとスタンプを使ってみよう」、2回目のワークショップの前半には「ペンツールを使って複雑な模様を作ってみよう」について学習し、後半はオリジナル作品の制作に入ります。3回目にはスペシャルゲストとして、NHK「Why!? プログラミング」を監修し、「わくわくプログラミング」の著者の阿部和広先生にリモートで参加していただき、作品へアドバイスをしていただきました。4回目は阿部先生の助言を参考に作品を仕上げました。

今回、他のお友達の作品を見て触れたことでたくさんの刺激を受けたようでした。以前よりできることが増え、ますますプログラミングが楽しくなったように感じられました。

(三浦典子)



先生やお兄さんたちからいろいろなことを学ぶことが出来ました！



作業の様子をのぞいたら、かなり複雑なプログラミングに挑戦中でした。完成が楽しみです★

④ 青年センタースタッフのおすすめ図書

『#真相をお話しします』

結城真一郎 * 著

2022年6月30日 * 発行



Twitter、YouTube、マッチングアプリと... いった一昔前には聞くことのなかった言葉は、現在当たり前なものになっています。この本は、そんな当たり前のものが何でもない日常にもたらす恐怖や驚きを描いた5編からなるミステリー短編集です。すべての話において伏線がわからず予測不能です。ラストには間違いなく驚愕することでしょう。おすすめをひとつ挙げるなら「#拡散希望」です。小さな島の小学生たちがYouTuberになりたいという夢を抱くことから始まります。新機種のスマートフォンを見て心躍らせ、夢を共有する彼ら。しかし、そんな夢を打ち砕く言葉にならない残酷な展開が訪れます。

決して読後感が良い小説ではありませんが、今を生きる者にとって考えさせられることが多かったと感じます。これからまた様々な技術が進歩し、「今」が「昔」になってしまうでしょう。だからこそ、「今」読んで欲しい一冊です！

ぜひ、ご一読を。(池田孝道)

⑤ 今年も色とりどりの花が咲きました♪

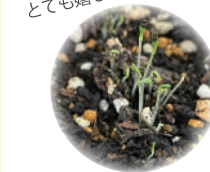
ネモフィラ成長記

青年センターの正面玄関前には花壇があります。毎年、春から夏にかけて、センターに来てくれた方をお出迎えするように、色とりどりの花を植えています。

“今年の花”を考えることは花壇係の醍醐味のひとつです。今回はずっと夢だった「ネモフィラ」に挑戦しました。今年は予算削減ということで、苗を買うのではなく、種から育てました。しかし、思ったように芽が育たず、花が咲くまでとても苦労しました(涙)

6月下旬頃、ようやく青い可憐な花が少しずつ咲き始めました。一緒に植えた金魚草とポピーも育ってきて、7月中旬には花壇いっぱい

の花々が咲き、来館していただいた方に「ブルーが涼やかでいいね～」 「小さくてとても可愛い花ね」などの感想をいただきました。多くの方に喜んでいただくことができ、とても嬉しく思いました。来年の春、センターへご来館の際は、花壇もぜひご覧ください❁ (中村友美)



主催講座情報

お申込み先 ☎0138-51-3390 (青年センター)

お申し込み・お問い合わせ等は、青年センターまでお電話ください。また、**新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況次第で中止または延期**になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

書家・青穂のペン文字講座 ～年賀状を作りま書～



- せいすい
講 師 青穂 (墨友会主宰)
- 日 時 11月24日(木) 18:30～19:30
- 受講料 2,000円 (材料費込み)
- 定 員 6名 (申込順)
- 持ち物 筆ペン (毛筆タイプのもの)

筆ペンを使って来年の干支をデザインします。送る人のことを想いながら素敵な年賀状を作ってみませんか？

自由研究先取り！ 陶芸 1日体験教室



写真はイメージです。

- いしかわ くみこ
講 師 石川 久美子 (studio claynote 主宰)
- 日 時 12月18日(日) 10:00～12:00
- 受講料 1,700円 (材料費込み)
- 定 員 小学生10名 (申込順)
- 持ち物 エプロン、飲み物
※汚れても良い服装でご参加ください

陶芸作家の指導の下、手びねりという手法でお茶碗や小皿、マグカップ、花瓶などオリジナル作品を制作できます。【受付開始：12月2日(金) 9:00～】

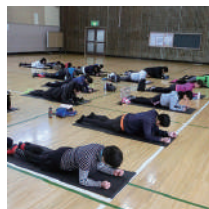
ひめトレ&やさしいヨガ



- かじわら ようこ
講 師 梶原 陽子 (JCCA 認定ひめトレインストラクター)
- 日 時 月2回/金曜日 14:00～15:00
※開催日は月ごとに異なるため、要確認。
- 受講料 各回 500円
- 定 員 10名 (申込順、女性限定)
- 持ち物 汗拭きタオル、飲み物

“ひめトレボール”を使って、骨盤底筋を鍛えます。ぽっこりお腹を引き締めたり、尿失禁を予防できたり、女性には嬉しいことばかりの運動です。

体調改善！歪みを整える 背骨コンディショニング



- よしだ えり
講 師 吉田 絵里 (adidas Functional Training 認定トレーナー)
- 日 時 月1回/日曜日 10:15～11:15
※開催日は月ごとに異なるため、要確認。
- 受講料 500円
- 定 員 20名 (申込順)
- 持ち物 タオル2枚、飲み物、ブランケット (ひざ掛け)

独自の体操で関節や神経をゆるめ・ほぐし、セルフ矯正で背骨を正しい位置に戻します。骨を支える筋力を育て、体調改善を目指します。

美ボディGET！ バレトン ～ソールシンセシス～



- やまもと さゆみ
講 師 山本 沙優美 (バレトンソールシンセシス インストラクター)
- 日 時 毎週火曜日 19:15～20:15
※開催日は月ごとに異なるため、要確認。
- 受講料 各回 500円
- 定 員 20名 (申込順)
- 持ち物 汗拭きタオル、飲み物

バレエ・フィットネス・ヨガの動きを組み合わせたエクササイズです。代謝アップやバランス能力、柔軟性の向上を目指します。

心身からリラックス ヨガ



- かじわら ようこ
講 師 梶原 陽子 (PFA認定 YOGACOACH)
- 日 時 月3回/金曜日 19:15～20:15
※開催日は月ごとに異なるため、要確認。
- 受講料 各回 500円
- 定 員 15名 (申込順)
- 持ち物 汗拭きタオル、飲み物

心身からリラックスし、心と身体のコンディションを整えます。日頃のストレスも解消できます。お仕事終わりにいかがですか？

センター長コラム

ゆうすかわらばん第30号よりデザイン、誌面を一新しました。特にページ数を8ページから4ページとしたことが大きな変化といえます。紙代の高騰が理由の一つとして挙げられますが、電子化が進む中で紙という資源の使用を減らすことも重要だと考えています。枠が少なくなると発信できる情報量が減るのではないかと懸念もあります。しかし、掲載する記事ひとつひとつを大切に、これまで以上にしっかりと青年センターの情報を伝えていこうという前向きな考えのもとに制作しました。

これまで中止にしてきたイベントも少しずつできるようになってきた中で、自分たちは記事から何を伝えたいのか、それはどうしたら伝わるのか、情報発信をするうえで重要なことを改めて見直すことができたと感じています。

一方通行になることなく、受け手の気持ちを考えて、正しいこと、役立つこと、楽しいことを丁寧に伝えて、市民に施設のことを知ってもらえるよう努力してまいります。(池田孝道)

お知らせ

今年度の年末年始休館は下記の通りです。

12月31日(土)～1月4日(水)

1月5日(木)から開館します。
お間違えの無いようお願いいたします。

発行元

企画・発行／函館市青年センター

発 行 日／2022年10月31日

印 刷／(株)プリントハウス

制 作／函館市青年センター 中村友美